

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
令和元年度(第2四半期)原子力規制検査報告書
(案)

令和元年10月
原子力規制委員会

目次

1. 実施概要	3
2. 指摘事項概要一覧	4
3. 運転等の状況	4
4. 検査内容	4
5. 検査結果	7
6. 確認資料	11

1. 実施概要

事業者名： 東京電力ホールディングス株式会社

事業所名： 柏崎刈羽原子力発電所

検査実施期間： 令和元年7月1日～令和元年9月30日

検査実施者： 柏崎刈羽原子力規制事務所

水野 大

佐藤 末明

前澤 直人

阿部 利扶

和田 武

百瀬 元善

黒川 武雄

出水 宏幸

河村 浩史

新通 智

石井 真一

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

平田 雅巳

久光 仁

小野 達也

小坂 淳彦

吉野 昌治

原子力規制部検査グループ専門検査部門

雑賀 康正

田中 孝行

尾崎憲太郎

原子力規制部検査グループ核燃料施設等監視部門

館内 政昭

熊谷 直樹

北村 清司

関 ルミ

原子力規制部検査グループ検査監督総括課

滝吉 幸嗣

伊藤 信哉

鈴木 佐代子

2. 指摘事項概要一覧

指摘事項なし

3. 運転状況

号機	出力(万 kW)	検査期間中の運転状況
1号機	110	停止中
2号機	110	停止中
3号機	110	停止中
4号機	110	停止中
5号機	110	停止中
6号機	135.6	停止中
7号機	135.6	停止中

4. 検査内容

検査は、検査対象に対して適切な検査ガイドを使用して実施した。検査対象については、原子力施設内の巡視及び事業者の保安活動からリスク情報を入手し、入手したリスク情報も考慮して検査対象を選定し検査を行った。検査においては、事業者の実際の保安活動、社内規準、記録類の確認、事業者への聞き取り等により事業者の活動状況を確認した。

検査ガイドは、原子力規制委員会ホームページ

(<http://www.nsr.go.jp/data/000273488.pdf>) (暫定版)に掲載されている。

第2四半期は、以下のとおり検査を実施した。

4.1 日常検査

(1) 検査ガイド BM1040 ヒートシンク性能

検査項目 ヒートシンク性能

検査対象 3号機RCW熱交伝熱管交換

(2) 検査ガイド BM0060 保全の有効性評価

検査項目 保全の有効性評価

検査対象 7号機 M/C7D系本格点検工事

(3) 検査ガイド BM0110 設計管理

検査項目 設計管理手順

検査対象 7号機 D/G(A) 竜巻防護ワイヤーネット

(4) 検査ガイド BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象 4号機 非常用ガス処理系手動起動試験(A系)、(B系)

(5)検査ガイド BO1020 設備の系統構成

検査項目 系統構成確認

検査対象 ①7号機 残留熱除去系(B系)ポンプを使用したS/P水張り

②6号機 残留熱除去系(B系)最大熱負荷モードを使用した使用済み燃料
プール冷却

(6)検査ガイド BO0060 燃料体管理(運搬・貯蔵)

検査項目 燃料の運搬等

検査対象 2号機 使用済み燃料プール内燃料移動作業

(7)検査ガイド BO1070 運転員能力

検査項目 シミュレータ訓練での運転員の能力

検査対象 ①6/7号機 運転員シミュレータ訓練

②4号機 運転員シミュレータ訓練

③5号機 運転員シミュレータ訓練

(8)検査ガイド BE0010 自然災害防護

検査項目 自然災害

検査対象 7号機 D/G(A)竜巻防護ワイヤーネット

(9)検査ガイド BE0020 火災防護(AQ)

検査項目 四半期検査

検査対象 ①3号機 非常用ディーゼル発電機(A系)(B系)(H系)室、デイトンク室
及び軽油タンクエリアにおける火災発生防止、感知、消火設備等の状況

②5号機 T/B地下1階薬品倉庫火災警報の発報に伴う対応

(10)検査ガイド BE0030 内部溢水防護

検査項目 内部溢水検査

検査対象 7号機 RHRポンプ(A)室、RHRポンプ(C)室及びHPCF(C)室における
水密扉

(11)検査ガイド BE0040 緊急時対応組織の維持

検査項目 緊急時対応組織の維持

検査対象 山形県沖地震の初動対応

- (12)検査ガイド BE0050 緊急時対応の準備と保全
検査項目 緊急時対応の準備と保全
検査対象 ①7月事業者防災訓練
②原子力防災資機材等の点検状況
- (13)検査ガイド BE0100 津波防護
検査項目 津波防護
検査対象 可搬型重大事故等対処設備他
- (14)検査ガイド BR0010 放射線被ばくの管理
検査項目 放射線被ばくの管理
検査対象 携行品モニタの取扱(1から4号機)
- (15)検査ガイド BR0070 放射性固体廃棄物
検査項目 廃棄体管理
検査対象 ①2号機 高線量廃棄物ドラム缶の所内運搬
②2019年度末に六ヶ所埋設センターに搬出を予定している 1,272 本の
充填固化体の作製、保管状況
- (16)検査ガイド BQ0040 パフォーマンス指標の検証
検査項目 パフォーマンス指標の検証
検査対象 2019年度 第1四半期 安全実績PI採取結果
- 4.2 チーム検査
- (1)検査ガイド BM0100 設計管理
検査項目 性能・機能整合性
検査対象 ①7号機非常用 D/G 燃料移送配管移設工事
②7号機原子炉建屋天井クレーン耐震強化工事
- (2)検査ガイド BO1070 運転員能力
検査項目 シミュレータ訓練での運転員の能力
検査対象 ①警報対応訓練(R/B外気差圧高)
②事故対応訓練(地震発生、RCW(A)系小漏えい及びATWS発生(1/2
片側集中))
- (3)検査ガイド BQ0010 品質マネジメントシステムの運用(PI&R)
検査項目 年次検査

検査対象 CAP 活動の実効性、マネジメントレビュー等の自己評価及び監査、安全文化の育成と維持に関する活動

5. 検査結果

5. 1 指摘事項の詳細

指摘事項なし

5. 2 未決定事案

該当なし

5. 3 未決定事案継続案件

なし

5. 4 品質マネジメントシステムの運用(PI&R)年次検査結果

CAP活動の実効性	<p>(1)問題の特定</p> <p>事業者は「不適合管理及び是正処置・予防処置基本マニュアル」等に基づき、不適合等をパフォーマンス向上会議に諮り、要求事項を満たさない事象が不適合であるか、是正処置等が必要な不適合であるかを整理して、不適合のグレードを区分していることを確認した。</p> <p>また、類似の不適合の再発防止として、PICo(パフォーマンス向上コーディネーター)ピア会議で、過去の不適合との類似性を確認し、類似性がある場合においては、必要な処置を行っていることを確認した。</p> <p>(2)問題の優先順位付け及び評価</p> <p>「不適合管理及び是正処置・予防処置基本マニュアル」及び「パフォーマンス向上会議運営ガイド」等に従い、不適合グレードとしてGⅠ、GⅡ、GⅢを検討し、一番高いグレードを最終的な不適合グレードと決定していることを確認した。</p> <p>不適合管理の状況を確認するため、平成29年度及び平成30年度のGⅠ、GⅡ、GⅢの不適合の中からは是正処置・予防処置を行う重要な事象であるGⅠ(10件)、是正処置を行う事象であるGⅡ(62件)の全ての事象及びGⅢのヒューマンエラー事象から任意に抽出した約120件について確認したところ、平成31年1月の不適合報告書「携行品搬出における測定不備について」(GⅢ)について問題を発見した。</p>
-----------	---

	<p>当該問題の概要は、放射線管理Gの委託測定員による手サーベイを受けずに、作業員自らが手サーベイを行い、非管理区域側にいる保安監視員へスプレー缶運搬容器を手渡して搬出したというものである。本事象について事業者は、保安規定第103条(管理区域外等への搬出及び運搬)に抵触しないと判断し、GⅢと区分していたが、本検査における事業者への聴取の結果、保安規定に記載されている一部の行為が不十分であったとの見解が示され、不適合報告書の見直しを行うこととなった。</p> <p>「パフォーマンス向上会議運営ガイド」に従うと、本事象は放射線管理に関する保安規定を遵守できていないことから、本来であればGⅡ以上に該当するものであり、当該ガイドに基づく適切なグレードの判断ができていなかった。</p> <p>一方、本事象は保安監視員がスプレー缶運搬容器を速やかに管理区域に戻していること及び戻されたスプレー缶運搬容器を放射線管理Gの委託測定員が手サーベイして汚染がないことを確認していたことから、原子力の安全に及ぼす影響は軽微なものと判断した。</p> <p>(3) 是正処置</p> <p>事業者は「不適合管理及び是正処置・予防処置基本マニュアル」等に基づきGⅠ及びGⅡについては是正処置計画を定めて是正処置を実施し、是正処置の有効性レビューを行い、パフォーマンス向上会議に報告している。是正処置までに時間を要する事象に関しては、今年度からグレード確定後1年以上経過した事象について定期的に進捗状況を確認するとの説明があった。</p> <p>また、PICoピア会議における類似事象の確認に関しては、再発の有無の確認や確認の対象範囲が不十分なために類似事象の抽出や特定につながらないこともあり得るため、PICoピア会議で抽出された類似事象に加えて、抽出結果に対してPICoからの意見を聞くことやGⅡ以上の不適合については主管部に対して類似事象の抽出を指示することの改善を行っているとの回答があった。</p>
<p>マネジメントレビュー等の自己評価及び監査</p>	<p>(1) マネジメントレビューの実施状況</p> <p>検査の結果、マネジメントレビュー及び事業者の組織の各階層におけるレビューは、自組織内の課題を体系的に抽出してレビューのインプット情報とし、レビューを通じて対応すべき事項をアウトプット情報として整理しており、おおむね効果的に実施されていることを確認した。</p>

	<p>本社の原子力・立地本部長の行うレビュー及び社長の行うマネジメントレビュー（以下「本社の行うレビュー」という。）の資料には柏崎刈羽原子力発電所長の行うレビューにおける詳細な課題の内容が一部記載されていなかったことから、本社の担当者に経緯を確認したところ、本社の行うレビューのインプット情報は各発電所が選定しており、本社が各発電所からのインプット情報を意図的に削除するようなことはなく、各発電所における課題であって、本社の行うレビューのインプット情報に含まれないものは、各発電所が主体的に対応するものであるとの説明があった。</p> <p>(2) 内部監査の実施状況</p> <p>検査の結果、内部監査は計画的に行われ、組織内の課題を特定し、特定した課題に対しては、おおむね効果的な対応が実施されていることを確認した。</p> <p>是正処置プログラムに係る内部監査に関しては、不適合について議論するパフォーマンス向上会議を傍聴し、内部監査で確認する不適合の候補をあらかじめ一覧表に整理しておき、同表からサンプリングした不適合について、被監査部署の対応状況を監査していることを確認した。</p> <p>一方、前述の不適合「携行品搬出における測定不備について」に関しては、パフォーマンス向上会議において情報を得ていたものの、保安規定に記載されている一部の行為が不十分であったことを認識できておらず、内部監査の活動が十分に機能していなかったことから、今後は不適合と保安規定との関連について、より注意深く確認していく旨の回答があった。</p>
<p>安全文化の育成と維持に関する活動</p>	<p>(1) 安全文化の育成と維持に関する活動に係る取組状況</p> <p>事業者の『「安全文化の醸成に係る活動」平成28年度暫定評価ならびに平成29年度取組策定について-平成29年度の活動計画-』（以下「活動計画」という。）等、関係する文書の確認、発電所長他発電所員へのインタビュー及び関係職員からの聞き取りにより、事業者の安全文化の育成及び維持に関する活動状況について次の事項を確認した。</p> <p>前年度の活動実績及びアンケート調査等に基づき自己評価を行い、組織の強み、弱みを抽出していることを確認した。抽出された弱みについては、改善対策を立案、実施し、活動の成果や安全文化の評価については、様々な評価手法を試行しながら、評価が実態に即していない場合は、評価手法を改良するなど、より適切</p>

な評価方法を模索していることが確認できた。

また、自己評価により弱みであると抽出されたLA(リーダーの安全に対する価値観と行動)への対策として、「MO(マネジメントオブザベーション)」及び「部長による安全文化の改善」を実施している。これらの活動は開始から2年程度であるため、現時点において状況が改善されたことを示すデータは確認できなかったが、職員インタビューでは総じて好意的に受け止められていた。

今回の検査では、個別の気づきとして次の2点を確認した。

1点目は、評価の考え方に関するものであり、事業者の自己評価において弱みであると分析したLA(リーダーの安全に対する価値観と行動)について、「MO」及び「部長による安全文化の改善」を実施しているが、その取組実績をもって改善傾向にあると評価していた。

しかしながら、自己評価においてLAは平成28年度から3年連続で弱みとして抽出されていること、LAの中でも一番の弱みとされるLA1(リソース)については、安全文化総合指標の平成30年第2四半期から同年第4四半期の数値が69.3から69.8と横ばいであることから、現時点において改善傾向にあるとまでは言えないことが確認できた。

2点目は、「MO」及び「部長による安全文化の改善」について、現場視察やインタビューの結果から各部署において目的や実施手法に若干の認識の差があることが確認できた。これらの活動は開始から2年程度であり、目的や課題に対応した効果が出ているか分析評価を行い、必要に応じて、今後取組みの改良や見直しの余地があることが確認できた。

安全文化の育成と維持に関する活動は、計画に基づいた取組が行われており、一部改善傾向にあるとまでは言えないものを除き、概ね改善傾向が見られた。

(2)安全文化の劣化兆候の評価

安全文化の劣化兆候については、特筆すべき問題となる劣化兆候は認められなかった。

しかしながら、平成29年度の活動計画において、管理者層と一般職層との認識に関して、事業者が定める「健全な原子力安全文化の10の特性」のうち、LA(リーダーの安全に対する価値観と行動)とWP(仕事の計画・管理)のギャップが大きく、当該ギャップについて発電所長他発電所員にインタビューで尋ねたところ、程度の差

	<p>はあるものの、ギャップの存在については、おおむね認識していることが確認できた。</p> <p>本件については、本検査ガイド添付1安全文化の要素(以下「安全文化の要素」という。)に基づき、平成29年度の活動計画及びインタビューの結果も踏まえ、ギャップの要因として関連性があるWE(尊重しあう職場環境)、CO(コミュニケーション)に弱みがあると判断した。</p> <p>また、不適合報告書のうち、平成30年度のヒューマンエラーに関連する不適合48件について安全文化の要素に従って分析したところ、その大半がPA(安全に関する責任)、WP(作業プロセス)に分類された。</p> <p>事業者の「安全文化醸成活動 2018年度評価」においても業務品質不適合の分析が行われており、PA2(仕事への責任感)、WP3(文書化)に弱みがあるとの分析結果が出ていることから、本検査の分析結果と事業者の分析結果との間で弱みの特定がおおむね一致していることが確認できた。</p> <p>安全文化の劣化兆候については、特筆すべき問題となる劣化兆候は認められなかったが、安全文化の傾向を把握するために継続的な監視が必要であることが確認できた。</p>
--	--

6. 確認資料

6.1 日常検査

(1) BM1040 ヒートシンク性能

検査項目 ヒートシンク性能

資料名

- ・技術検討書「プラント長期停止における海水系機器の点検方針について」

(2) BM0060 保全の有効性評価

検査項目 保全の有効性評価

資料名

- ・実施計画承認書【M/C 7D系本格点検】
- ・工事手順書【MC、PC、MCC7D系電源復旧】柏崎刈羽原子力発電所第二保全部電器機器グループ
- ・保全の有効性評価結果記録シート(3号機、第一保全部電気機器(2・3号)G、評価対象期間:2019年1月1日～4月5日)
- ・保全の有効性評価結果記録シート(3号機、第一保全部電気機器(2・3号)G、評価対象期間:2019年4月6日～7月16日)

- ・保全の有効性評価結果記録シート(7号機、第二保全部電気機器 G、評価対象期間:2019年1月1日～4月5日)
- ・保全の有効性評価結果記録シート(7号機、第二保全部電気機器 G、評価対象期間:2018年2月1日～12月31日)

(3) BM0100 設計管理

検査項目 設計管理手順

資料名

- ・設計管理シート(設計計画)
- ・設計管理シート(設計検証)
- ・技術検討書(ER-16-7)「柏崎刈羽原子力発電所6, 7号機 竜巻防護ネットの設置について」
- ・KK-7R 自然事象対策設備設置 購入追加仕様書
- ・KK-7R 竜巻防護ワイヤーネット 購入追加仕様書
- ・竜巻防護設備施工図リスト
- ・DG(A)非常用給気ルーバ 竜巻防護ネット設備外系図(No. 19)(No. 20)
- ・竜巻防護ネット設備 コーナーガイド及びアイプレート構造図

(4) BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

資料名

- ・NM-51-14・KK-F1-557,4号機 定例試験手順書
- ・運転責任者台帳及び個別合格証(控)(a.試験責任者(当直長))
- ・BTC 訓練(中級Ⅱ & ⅡS 又は旧中級Ⅲ)の成績書及び修了証(b.試験指揮者(主任以上)主任)
- ・BTC 訓練(上級初期)の成績書及び修了証(副長)
- ・主機操作員台帳及び個別認定証(控)(c.試験操作者(中操:主機操作員))
- ・BTC 訓練(中級Ⅰ 又は旧中級Ⅱ)の成績書及び修了証(副主任)
- ・補機操作員台帳及び個別認定証(控)(d.試験操作者(現場:補機操作員))

(5) BO1020 設備の系統構成

検査項目 系統構成確認

資料名

- ・RHR(B)系を使用したS/Pへの水張り手順
- ・7号機 P&ID E11系、P13系、E22系、T49系」
- ・7号機 S/C水張り、HPAC系統試運転、MUWC手動弁電動化工事に伴う保有水計画

- ・残留熱除去系配管計装線図(NT-5000422 SH2)
- ・残留熱除去系配管計装線図(NT-5000422 SH1)

(6)BO0060 燃料体管理(運搬・貯蔵)

検査項目 燃料の運搬等

資料名

- ・実施計画書 燃料交換機運転員復職者研修(施行:2019.6.24)
- ・燃料交換機運転員 認定資格有資格者リスト(KK-2018-S017799R00)
- ・柏崎刈羽原子力発電所 2号機 燃料整理移動作業手順書(プール内整理)(手動運転)(KK-2019-S006863R00)
- ・実施報告書 燃料交換機運転員復職者研修(2018.10.12)(2018.9.12)
- ・2018年度 燃料交換機運転員保安教育報告書
- ・東芝型燃料交換機等機能確認チェックシート(日常)
- ・KK-2R燃料取替機耐震強化(耐震強化等)燃料取替機制御盤点検工事施行報告書(H23.6.20)
- ・2号機 異物混入防止チェックシート(異物混入防止管理エリア用)
- ・異物混入防止管理計画書(H29.11.20 承認)
- ・不適合報告書(SR10349879)
- ・2号機 原子炉建屋原子炉棟内で照射された燃料に係る作業時(照射された燃料に係る作業に準ずる作業含む)および炉心変更時確認チェックシート(2019.7.1~7.19)

(7)BO1070 運転員能力

検査項目 シミュレータ訓練での運転員の能力

資料名

- ・2019年度 サイトシミュレータ/BTC 年間計画

(8)BE0010 自然災害防護

検査項目 自然災害

資料名

- ・設計管理シート(設計計画)
- ・設計管理シート(設計検証)
- ・技術検討書(ER-16-7)「柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 竜巻防護ネットの設置について」
- ・KK-7R 自然事象対策設備設置 購入追加仕様書
- ・KK-7R 竜巻防護ワイヤーネット 購入追加仕様書
- ・竜巻防護設備施工図リスト
- ・DG(A)非常用給気ルーバ 竜巻防護ネット設備外系図(No. 19)(No. 20)

・竜巻防護ネット設備 コーナーガイド及びアイプレート構造図

(9)BE0020 火災防護(AQ)

検査項目 四半期検査

資料名

- ・【第一線業務取扱文書】防火管理要領
- ・消防計画
- ・火報発報時の連絡対応フロー【夜間・休祭日】

(10)BE0030 内部溢水防護

検査項目 内部溢水検査

資料名

- ・建具設備 年度別点検計画表(2019.7.30 承認)
- ・水密扉(手動)定例点検報告書
- ・技術検討書(KK-2018-S029168R00)

(11)BE0040 緊急時対応組織の維持

検査項目 緊急時対応組織の維持

資料名

- ・山形県沖を震源とする地震発生時、柏崎刈羽原子力発電所からの通報連絡用紙における誤記について原因と改善策について
- ・山形県沖を震源とする地震発生時、柏崎刈羽原子力発電所からの通報連絡用紙における誤記について原因と改善策について(概要版)
- ・別添資料「宿直当番者力量確認試験要領」
- ・訓練等の是正プロセスに関するサンプル

(12)BE0050 緊急時対応の準備と保全

検査項目 緊急時対応の準備と保全

資料名

- ・2019年7月度防災訓練概要
- ・KK 訓練中長期訓練に基づく年度計画
- ・7月度防災訓練スコープ
- ・原子力防災資機材等 2019年度点検計画

(13)BE0100 津波防護

検査項目 津波防護

資料名

- ・6号機 電源機能等喪失時対応要領【NM-51-13-KK-D7-353改訂8】
- ・技術メモ【K6、7 可搬型重大事故等対処設備他の荒浜高台保管場所及び大湊高台保管場所配置レイアウト検討(改訂1)(2019年6月26日承認)

(14)BR0010 放射線被ばくの管理

検査項目 放射線被ばくの管理

資料名

- ・【依頼文書A】測定できる携行品リストの改訂(Rev.5)について
- ・限定した携行品以外を測定した場合等の対応について(平成29年3月10日)
- ・購入追加仕様書(KK-退出モニタ他2品目)
- ・技術検討書(汚染検出用放射線計測器の校正用線源変更について)
- ・放射線計測器校正記録(KK-2018-S021414R00)
- ・放射線計測器校正記録(KK-2018-S032407R00)
- ・放射線計測器校正記録(KK-2018-S026499R00)
- ・放射線計測器校正記録(KK-2018-S029086R00)
- ・携行品モニタ測定持出許可申請書
- ・KK-保安監視業務委託 委託追加仕様書
- ・指示文書(放射線管理 H18-163)(放射線管理 H18-160)
- ・KK-管理区域内放射線測定業務委託 委託追加仕様書

(15)BR0070 放射性固体廃棄物

検査項目 廃棄体管理

資料名

- ・雑固体廃棄物処理作業報告書
- ・搬出物品確認申請書・確認書(B)
- ・ドラム缶外観目視確認報告書
- ・放射性固体廃棄物等 運搬時チェックリスト
- ・充填固化体の製作に係るフロー
- ・ジョブ NO.発行記録
- ・固体廃棄物貯蔵庫ドラム缶取り出し記録
- ・分別作業員教育記録
- ・分別作業管理者教育記録
- ・分別作業管理者選任、解任記録
- ・雑固体廃棄物 分別、収納記録
- ・雑固体廃棄物 切断処理記録
- ・雑固体廃棄物 圧縮処理記録
- ・単体作動確認記録

- ・物品持込書(検収書)(ドラム缶)
- ・通常ドラム缶試験成績証明書
- ・プレミックスセメント配合成績書
- ・KKープレミックスセメント製造工場切替に伴う実機試験委託業務報告書
- ・混練データ帳票
- ・固形化・養生データ帳票
- ・固形化養生記録

(16)BQ0040 パフォーマンス指標の検証

検査項目 パフォーマンス指標の検証

資料名

- ・2019年度 第1四半期 安全実績PI採取結果の提出について
- ・2019年度 第1四半期における安全実績PIデータの算出結果について
- ・2019年度 第1四半期における安全実績PIデータの提出依頼に対する回答について
- ・気体廃棄物管理年報(所内合計)(SCIN) 期間:18年4月～19年3月
- ・柏崎刈羽原子力発電所 放射性気体廃棄物管理年報(揮発性物質、粒子状物質)
【2018年度】
- ・柏崎刈羽原子力発電所 放射性液体廃棄物管理年報【2018年度】
- ・個人線量評価結果報告書(2019年3月分)

6.2 チーム検査

(1)BM0100 設計管理

検査項目 性能・機能整合性

資料名

- ・社内技術検討書
- ・購入追加仕様書
- ・機器設計仕様書
- ・系統設計仕様書
- ・フレキシブルホース外形構造図
- ・機器配置図
- ・配管施工図
- ・耐圧試験要領書
- ・耐震計算書
- ・機器外形図
- ・改造範囲図
- ・工場試験検査要領書、成績書
- ・工事要領書

(2)BO1070 運転員能力

検査項目 シミュレータ訓練での運転員の能力

資料名

- ・2019 年度シミュレータ訓練実施計画表 Rev.6
- ・訓練シナリオ(R/B外気差圧高)
- ・訓練シナリオ(地震発生、RCW(A)系小漏えい及びATWS発生(1/2片側集中))

(3)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用(PI&R)

検査項目 年次検査

資料名

- ・不適合管理及び是正処置・予防処置基本マニュアルNI-11改26
- ・事故・故障情報及び耐震新知見情報処理マニュアルNI-11-1改11
- ・原因分析の実施マニュアルNI-11-2改7
- ・原因分析の実施マニュアルNI-11-2改7
- ・不適合案件リスト(不適合・是正)(平成 29 年度～平成 31 年度 3 月まで)
- ・グレード区分G I 及びG II(2017.4～2019.3)の不適合報告書(計 72 件)
- ・不適合報告書(SR10347561)携行品搬出における測定不備について
- ・不適合報告書(SR10347561)「携行品搬出における測定不備について」の保安規定との関連について(東京電力ホールディングスからの説明資料)
- ・不適合処置の進捗状況(未完了 ACT,WO)
- ・平成 29 年度第4四半期報告(四半期報告)平成 30 年 4 月 23 日パフォーマンス向上会議付議案件
- ・2018年度第4四半期報告(四半期報告)
- ・不適合案件リスト(不適合・是正)
- ・是正処置の進捗状況(未完了 ACT)
- ・有効性評価完了リスト
- ・MO 結果_トレンド CR リスト
- ・是正内容及び有効性評価対象(CR 帳票)
- ・2018 年度第 4 四半期の振り返り所長付部長
- ・柏崎刈羽原子力発電所所長付部長活動板
- ・2018.Q3 MO の振り返りと対応 柏崎刈羽原子力発電所第一、二運転管理部
- ・2018.第 4 四半期(4Q)MO の振り返りと対応 柏崎刈羽原子力発電所第一、二保全部
- ・添付資料(1)業務品質不適合 件名一覧
- ・共通要因分析 活動計画書
- ・原子炉等規制法第43条の3の24に関する保安規定違反事項判定表(保安検査)様式 5(2件)

- ・自発電所の運転経験からのインプットリスト
- ・他の発電所等からのインプットリスト
- ・評価結果 予防処置を計画した案件リスト
- ・予防処置報告書及び進捗状況(SR 単位)
- ・予防処置進捗状況(ACT 単位)
- ・原子力品質監査基本マニュアル AM-19 改24
- ・業務品質監査マニュアル AM-19-2 改21
- ・平成28年度上期 柏崎刈羽原子力監査G 活動状況報告
- ・2017年度上期 柏崎刈羽原子力監査G 活動状況報告
- ・2018年度 柏崎刈羽原子力監査G 活動状況報告
- ・2019 年度 品質監査方針
- ・2019 年度 品質監査計画(原子力監査G)
- ・2019 年度 品質監査計画(柏崎刈羽原子力監査G)
- ・不適合事象選定リスト 2019 年度 7 月分 柏崎刈羽原子力監査グループ
- ・2018 年 11 月 27 日 一般管理部門社員に対する原子力品質保証規程に関する理解向上に向けた取り組みのお願いについて
- ・発信文書(柏崎刈羽原子力発電所)『全GM必達 対応事項』の確認について
2019/07/05
- ・セルフアセスメント実施基本マニュアル NI-17 改14
- ・マネジメントレビュー実施基本マニュアルNI-18
- ・発電所長の行うレビュー事務局ガイド 改訂 10
- ・2017 年度上期 発電所長の行うレビュー
- ・2017 年度下期 発電所長の行うレビュー
- ・2018 年度上期 発電所長の行うレビュー
- ・2018 年度下期 発電所長の行うレビュー
- ・2017 年度上期 原子力・立地本部長の行うレビュー
- ・2017 年度下期 原子力・立地本部長の行うレビュー
- ・2018 年度上期 原子力・立地本部長の行うレビュー
- ・2018 年度下期 原子力・立地本部長の行うレビュー
- ・2017 年度 社長の行うマネジメントレビュー
- ・2018 年度 社長の行うマネジメントレビュー
- ・第 2 回 パフォーマンス向上会議(拡大) 議事録 2019 年 02 月 06 日
- ・不適合管理及び是正処置・予防処置の状況 2018 年度第 4 回四半期報告
- ・RCA研修(2019 年度)実務者向けコース 2019 年 7 月 24 日(水)、25 日(木)
- ・不適合 有効性レビュー振り返り(第一 4 半期) 2019.7
- ・法令等の遵守及び安全文化の醸成に係る活動の手引きNI-Z-09-1改7
- ・【安全文化の醸成に係る活動】平成 28 年度暫定評価ならびに平成 29 年度取組策定に

ついて-平成 29 年度の活動計画-

・【安全文化の醸成に係る活動】平成 29 年度取組の策定について- 平成 29 年度の活動計画(改訂 3) -

・安全文化醸成活動 H30 年度活動計画(改訂 1)

・安全文化醸成活動 2018 年度活動計画(改訂 2)